

## 平成28年度外務大臣表彰

外務省は、平成28年度外務大臣表彰受賞者を発表し、フロリダ州においては、日本とアメリカ合衆国との相互理解の促進に貢献したとして、ホセ・ケイチ・フエンテス氏と良子徳田 カールトン氏が受賞しました。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_003483.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_003483.html)

昨年11月、マイアミ・鹿児島姉妹都市締結25周年を記念してレガラド・マイアミ市長を始めとする訪問団が鹿児島市を訪れ、今回、その返礼として鹿児島市訪問団がマイアミ市を訪問したところ、7月26日に総領事公邸において鹿児島市長のマイアミ市訪問を歓迎するレセプションが開催されました。

外務大臣表彰を受賞した両氏は、それぞれ姉妹都市委員会の委員長及び委員を務めており、今回の歓迎レセプションの際、当館岡庭総領事から両氏に対して外務大臣表彰の発表・伝達を行い、レガラド・マイアミ市長及び森鹿児島市長を始め多くの出席者から祝福を受けました。



左よりレガラド・マイアミ市長、ホセ・ケイチ・フエンテス氏、良子 徳田 カールトン氏、森鹿児島市長、岡庭総領事

<功績概要>

➤ ホセ・ケイチ・フエンテス氏

フエンテス氏は、2002年からマイアミ・鹿児島姉妹都市委員会委員長に就任し、現在まで同職を務めている。その間、鹿児島市長を含む同市関係者や青少年訪問団の来訪行事のアレンジ等に尽力し、姉妹都市である鹿児島市とマイアミ市、ひいては日米関係の人的交流増進に大きく貢献してきた。また、平成17年度「在米日系人リーダー招へいプログラム」(外務省)にて訪日。近年は在米公館長会議における日系人リーダーとのセッションに参加する等、在米日系人として日米関係の増進に貢献している。

➤ 良子 徳田 カールトン氏

徳田氏は、琴の美しさと歴史を教えるため、長年の総領事館文化行事への協力をはじめ、地元の学校や美術館・博物館等でレクチャーやデモンストレーションを活発に行っている。また、マイアミ・鹿児島両市の姉妹都市交流に関しても、長年、日本からの派遣者の受入や鹿児島市への訪問の際にボランティアとして参加するなど、文化事業の振興と日米の相互理解及び友好親善促進に貢献している。